

# 生野区における「地域のお宝発表会」

地域には、つながりの源となる「お宝」のような場がたくさんある。そこに光を当てて、介護保険サービスやご近所のとつながりと組みあわせた地域づくりを進めたいと生野区の協議体で開催。



生野区社協キャラクター  
はーとちゃん

## 地域の「お宝」を見つけよう

～支え合い活動講演会&お宝発表会～

大阪市生野区社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 福田千裕



生野区社協キャラクター  
はーとちゃん

### 目的

ご近所づきあいが希薄だと思われがちな大都市である大阪市で、ご近所同士のつながりが本当はないのか？をテーマに、ナチュラルコミュニティサロンの発掘をおこなった。

**地域には、つながりの源となる「お宝」のような場がたくさんある！**

### 方法

住民同士の支え合い活動は、自然におこなわれている。住民自身も気づきにくい当たり前の助け合いを地域と一緒に再評価したい。そんな想いから生野区の協議体で地域の5つの「お宝」の取材をおこなった。講師に【ご近所福祉クリエーター】の酒井保さんを迎えて開催。

発表された5つの「お宝」	①異西第四振興町会（異地域）	週1回、メンバーがそれぞれ役割を持ちながら、おしゃべりを楽しみ、その後は百歳体操を実施している。
	②たつみおでかけ支援の会（異地域）	異地域の有志のボランティアが、自家用車を使って同じ地域に暮らす方のおでかけ支援をおこなっている。
	③北鶴橋サロンあすなろ（北鶴橋地域）	月2回集まり、ボランティアさん手作り食事、ゲーム、体操などを楽しむ。立上げから25年経過。
	④90歳以上限定お話し広場（勝山地域）	「昔の話をしよう！」をキャッチフレーズに月1回開催。現在最高高齢の参加者は101歳。
	⑤洋装店きくち（東中川地域）	92歳の店主・菊池さんのもとに、近所の人が世話話や相談にやってくる。自然発生的なサロンのような場。



①異西第四振興町会



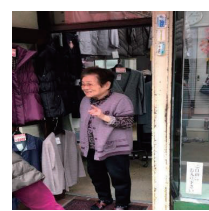
②たつみおでかけ支援の会



③サロンあすなろ

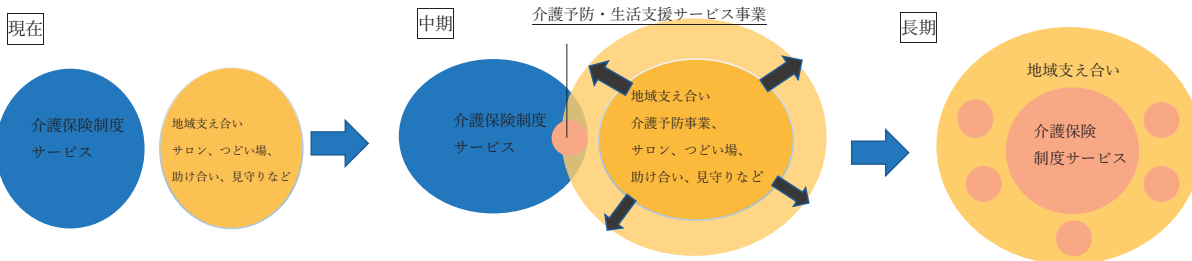


④90歳以上限定お話し広場



⑤洋装店きくち

将来目指す 介護予防・生活支援サービス事業等とサロン・つどいの場の関係※



考察：ナチュラルコミュニティサロンの再評価の場を継続し、住民が地域にある暮らしの課題や次の活動を支援する展開をサポートする地域づくりが大切。地域支え合いの中に介護保険制度サービスがあるつどいの場の関係を目指す。

※参考文献：「被災地発！多様なサロン・つどい場の可能性」特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

④ 助け合い活動の創出

④ 地縁の助け合い・交流